

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



活 用 事 例



概 要	
学 校 名	長生村立高根小学校
活用方法	4つの学習過程を効果的に位置付けた指導計画を立て、国語科の授業を実践している。それぞれの過程で、どのような学習活動を行い、どのように指導の工夫を図るのかを明確にし、教員間で共通理解を図っている。
成 果 等	「広げ深める」過程において、児童の交流活動を工夫することで、児童は、自分の考えとの違いに気付いたり、自分の考えに加除修正を加えながら、考えをより明確に表現したりすることができている。

国語の授業の様子（令和2年1月24日 公開授業研究会）



まず、物語文を読んで疑問に思ったことを整理して、読み解く視点を全員で決めました。そして、疑問に対する自分の考えについて、叙述を根拠にしながらい説明しました。説明を聞いた児童は、叙述を確認しながら「確かに…」「そうか！」「なんで？」「どういうこと？」とつぶやきながら、グループで更に話し合いました。このように、全体やグループでの話し合いを通じて、自分の考えを広げ深めました。

教室には、実践モデルプログラムの4つの過程を生かした学習計画を掲示しました。児童は、教師とともに「今日の授業は何を目的として何を学ぶのか。」を確認することで、見通しをもって授業に臨むことができました。

また、指導案に「児童に身に付けたい力」とそれを実現するための「言語活動」を明記することで、教師は、資質・能力が育成された児童の具体的な姿を常に意識しながら授業実践しました。

学習過程

学習過程		主な学習活動	指導上の留意点
第一次 導入	見出す	<p>*課題を明確にし、単元の見通しを持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> 提示された教材文や具体物もとに、単元で身に付けたい力を付けるために行う言語活動を明確にする。 単元全体の学習計画を立てる。 既習内容や方法を振り返る。 学習課題を解決するために、教材文をどのように読めばよいか見通しを持つ。 	<p>*学習のめあてがしっかり持てるよう資料の提示を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> 前学年やこれまで学習したことを想起させ、本単元と関連付ける。 その言語活動を通して単元で身に付けさせたい力を明確化する。 児童が主体的に取り組めるような言語活動を位置付ける。
	第二次 展開	<p>*資料を収集し、調べたことを交流活動につなげる</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習課題を解決するために、様々な情報（教科書教材、並行読書）を読み、目的意識を持ちながら調べていく。 【物語文】教科書教材を読んで課題について考える。シリーズ作品や同じテーマの作品を読む。 【説明文】教科書教材から必要な内容を選び出す。同じジャンルの本を読んだり、資料を確かめたりする。 自分の考えを形成する。 思いや考えを基に創造する。 調べたことを書いて次の交流活動につなげる。 	<p>*目的に応じて適切な方法が選択できるよう、指導を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> 並行読書で読む本の選定と準備をし、自らの課題を解決したり探求したりできる並行読書を取り入れる。 具体的に第三次の発展の段階で行う表現活動に必要な指導事項の読む力を習得できるようにする。 資料やワークシートを活用しながら、読み進める手立てを把握させ、主体的に読むことができるようにする。 児童の実態に応じた方法で、自己解決力が育つように意識しながら指導に当たる。
第二次 展開	広げ深める	<p>*自分の考えを述べたり、相手の考えを理解したりして学習を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> 「何のために」他者との交流活動を行うのか（目的）をつかむ。 意見や情報の交換の場を設ける。 ※自分の考えを述べる際には、必ず理由や根拠を述べる。 ※自分の考えと他者の考えとの共通点や相違点に気付く。 ※発言を「自分の経験」「文章」「友達の意見」等に関連付ける。 交流後、収集した様々な情報を吟味し、自らの思考を高める。 学習してきた読みや表現活動を生かして、言語活動に取り組む。 	<p>*考えを発表し、話し合いを工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流活動の際に、発問の焦点化、話し合いの内容の視覚化、グループ活動から全体交流での共有化等の配慮を行う。 「聞き合い・受け止め合う姿勢の重視」「意見や考えをつなぐルールの習慣化」に留意する。 教師は「聴く」「つなぐ」「もどす」役割をする。 思考ツールを活用する。（マッピング・ベン図等） ペアやグループ、全体での交流を有効に活用する。
	第三次 発展	まとめあげる	<p>*思考の過程を振り返り、自分の考えをまとめ、表現する</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のまとめを他者に向かって表現する。 この単元で何を学習し、何が分かったのか、学習を振り返る。 今後の学習や生活にどのように生かすかを考える。 学んだことを確実に身に付けるとともに、新たな疑問をもち、次の学習への意欲や見通しにつなげる。